

第7回地域づくり専門部会 開催結果概要



タンチョウをシンボルにして長沼町の魅力を発信する取組を推進しました！

タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 第7回 地域づくり専門部会

■開催日時：令和5年2月13日(月) 18:30～

■開催場所：長沼町役場 3階 会議室

■出席者：計13名（うち委員4名、オブザーバー1名）



議事と主な意見

(1) 道央圏におけるタンチョウの飛来・繁殖状況について

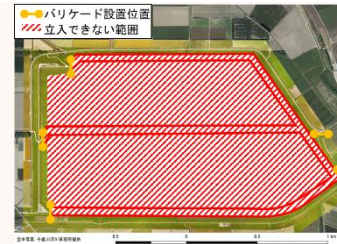
(2) 今年度の取組状況について

- 多くの方にタンチョウの取組を知ってもらうため、町内のイベントで展示する場を提供
- バスツアーの参加者へのアンケートから、長沼町には魅力ある観光コンテンツがあり、中でもタンチョウも住めるまちづくりを通して、地域の風土を感じることができる場所というのは、バス会社からしても大きな成果であった。
- ツアー内で活用した箸磨き体験については、「充実した体験であった」など参加者からは大変好評であった。

(3) 来年度の取組について

- バスツアーを、地元の農産物の活用やふるさと納税への連携など、地域経済への連携は意識的に行うことができるので、今後も参加者のニーズを捉えつつ実施していきたい。
- 農家が直接的にバスツアーに関わることは現状として難しいが、付加価値を付けブランド化した農産物の提供などの間接的な連携は可能である。そうしたブランド化した農産物の購入が広がることで、取組の活性化につながる事が理想。
- 町内に多くいるアート体験ができる事業者を積極的に活用してもらいたい。
- タンチョウが住めるまちづくりが活性化していく中で、今後アート体験や農業も含めた様々な連携体制づくりが求められる。

(4) 石狩川流域生態系ネットワークの推進にむけた検討体制について



立入制限の実施



今年のタンチョウ家族

◆ワーキング（WG）実施状況

令和4年6月22日 合同WG

令和4年7月15日 合同WG

令和4年10月5日 合同WG



鶴居村との子ども交流ツアー



商業施設での物販・情報発信



北海道中央バス・JALと連携したバスツアー